

ボランティア養成研修 募集要項

- 1 趣 旨 青少年教育施設のボランティアの役割を理解し、必要な知識・技能を習得する。自然の中で活動する楽しさを味わい、仲間と協働した学びあいから、ボランティア活動に対する意欲を高め、社会に貢献できる人材を育成する。
- 2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家
- 3 期 日 令和4年10月29日（土）～10月30日（日） 1泊2日
- 4 対象及び人数 青少年教育施設における活動に興味・関心のある高校生以上の生徒・学生及び社会人 20名
- 5 内容及び講師
- (1) 講義「青少年教育施設の現状と運営」(1時間) 【講師】国立信州高遠青少年自然の家 所長
青少年教育施設の教育機能や役割等について学びます。
 - (2) 講義「青少年教育」(1.5時間) 【講師】国立信州高遠青少年自然の家 職員
今日の青少年教育の課題や発達段階に応じた体験活動の必要性について学びます。
 - (3) 演習「ボランティア活動の技術」(4時間) 【講師】国立信州高遠青少年自然の家 職員
実践を通して自然体験活動の技術を学ぶとともに、体験活動の支援のあり方について学びます。
 - (4) 講義「ボランティア活動の意義」(1.5時間) 【講師】国立信州高遠青少年自然の家 職員
ボランティア活動の意義について理解するとともに、ボランティア活動における心構え等を学びます。
 - (5) 演習「安全管理」(3時間) 【講師】上伊那広域連合救急救命員
応急処置など、救命救急に必要な知識や技術を学びます。
 - (6) 講義「青少年教育施設におけるボランティア活動」(2時間) 【講師】国立信州高遠青少年自然の家 法人ボランティア
青少年教育施設におけるボランティア活動内容について学びます。

※プログラムや講師等については、予告なく変更することがあることを予めご了承ください。

- 6 参 加 費 3,500円程度【食事代等、シーツ等洗濯代、教材費、保険料】
- 7 持 ち 物 室内および野外での実習や体験活動に適した服装 雨具 軍手 帽子 防寒着 懐中電灯
 健康保険証（写し可） マスク 筆記用具 洗面用具（タオル・歯ブラシ・ドライヤーはありません）
※その他必要と思われるもの（着替え、常備薬など）をお持ちください。

- 8 申込方法 国立信州高遠青少年自然の家ホームページ（<https://takato.niye.go.jp/>）または右記QRコードからお申込み下さい。※高校生は保護者の同意が必要です。



- 9 そ の 他
- (1) 研修修了後に希望者は「国立青少年教育振興機構法人ボランティア」として登録することができます。
 - (2) 法人ボランティア登録希望者は、参加費とは別にボランティア活動保険加入料350円をご用意ください。
 - (3) 新型コロナウィルスへの感染防止対策について
国立信州高遠青少年自然の家では新型コロナウィルス感染拡大防止のため「利用のガイドライン」を策定し、ガイドラインに準じて事業を運営しております。ホームページに掲載しておりますので必ずご確認ください。参加者の受入れについても、ガイドラインに従い、当施設のある長野県伊那市もしくは参加者の居住地に「緊急事態宣言」もしくは「まん延防止等重点措置」がされている場合には、事業の中止、抗原検査やPCR検査のお願い、もしくは事業への参加をご遠慮いただく場合があります。ご了承ください。
 - (4) 個人情報保護について
ご記入いただいた個人情報は「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務にのみ使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。
本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット（ソーシャルメディアサービスを含む）等に掲載することができます。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物やインターネット（以下、「印刷物等」）に記事・写真を掲載することもあります。
なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人（又は保護者）から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、機構発行の印刷物並びに機構以外の者が発行・運営する印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。